THE SMILE TIMES
スマイルタイムズ
No, １２７
平成18(2006)年10月26日(木)発行
発行者　小浜市多田2-2　中山クリニック　院長　中山茂樹
http:www.nakayama clinic.jp

新生児の輝きを忘れないで

小児科医師　中山真里子

十月に入ってからも夏日が続き、いつまでも半袖(夏服)を着ながら“日本はやっぱり亜熱帯化しているみたい”と妙に納得しつつ日々過ごしているうちに、気が付けば早や十月下旬、いつしか紅葉の便りも届く頃となってしまいました。

息子の夏休みの宿題との熱い闘いを終えたのはついこの間とばかり思っていましたが、以前（№124）の紙面に書いたように、私自身の子供のころの不勉強のリベンジ(雪辱戦)は息子と共に残念ながら来年も続くことでしょう…。

カレンダーの残りが気になるこの頃となりました。せめてしばらくさわやかな秋晴れを楽しみたいですね。でも、世の中は“信じられない！考えられない！”を連発したくなることばかりで、とても“美しい日本”を愛でる豊かな幸せな気分にはさせてくれそうにありません。

血税という意識を忘れ、“公僕”という言葉は死語かと痛感させられる不祥事の数々、また、飲酒運転による事故、いじめ、虐待などで不条理に失われる幼い命のなんと多いことでしょう。こうして書いているだけでやり場のない怒りがこみ上げ、気分が滅入ります。余りの多さに“またか”という思いから無力感、あきらめといった感情が芽生えそうで怖いです。

福井県は少子化が進む中、全国でも珍しく出生率が上昇している県だそうですが、それを先導する？当院は10月は出産ラッシュ。全国的に不足して何かと話題の多い産婦人科の院長として孤軍奮闘、まさに生命を削って出生の仕事を果たしています。新たな生命の誕生の瞬間にたずさわれる喜びと使命が支えとはいえ、頭が下がります。

それにしても、無事、出産され、赤ちゃんを胸に抱いたお母さんの顔はまぶしいくらい輝いて美しく、幸せに満ち溢れていらっしゃいます。そして、赤ちゃんがこの世に生を受けてより、人に全てを依存し、人を信じ、疑いを知らない無垢な表情をしているのを見ると、手を差し伸べずにはいられない存在として映ります。その子を大人の勝手な都合でその生命を断つなど、想像だにできません。

確かに毎日の子育ては親の思い通りに行くはずはなく、思い通りにしようとするとイライラすることが多いのですが…。昨今、人間は人間も動物だということを忘れているようです。誰に教わるでもなく、動物たちは種の保存をかけ、遺伝子に組み込まれた方法で子育てをしています。そして人間には真似のできないようなことを平気でやってのけます。

何日間も飲まず食わずで寒風に晒されながら卵をじっと温め続けるペンギンの親には“つらい”とか“いやだ”という感情がないからできるのかなあーとぼんやり考えながら、子供への接し方を反省したり…。

人間は人間であるが故に動物本来の親の務めを忘れてしまったのでしょうか。“畜生にも劣る”と言われる行動を生み出す怪物を内に秘めている、と云っても実は心も感情も脳の働きによるものだということを常に肝に銘じて、脳をきちんとコントロールする必要がありそうです。

動物園に行って動物たちに会ってくるのもよいかもしれませんね。旭山動物園(北海道・旭川市)にぜひ行ってみたいなあー。そろそろ冬支度の始まった北海道に思いを馳せています。折しも日本シリーズ真っ只中、北海道はきっと熱気を帯びていて、暖かいかもと思いながら。

懸賞と図書館

看護師　中村　美峰

私は夫の転勤で４月から初めて小浜へやって参りました。私は小さい頃から父親の転勤でよく引越しをしていました。そして夫も仕事の都合で何年かに一度は転勤です。だから小さいときから今に至るもせっかくできた友人や知人ともすぐ離れ離れになってしまいます。人見知りですぐに友人ができない私にとっては今は夫の転勤はとても不安になります。でもこの７月から中山クリニックに勤務させて頂き、ようやく私にも小浜に数人の知人ができ、仕事が休みの日には食事へ行ったりすることが増えました。

さて、他の楽しみと言えば時間があれば懸賞に応募するために図書館へ出かけることです。雑誌に載っている懸賞を片っ端から見て葉書を書きます。小浜に来てからは懸賞ノートに記載して何に応募したか、きちんと把握しているくらいです。一人で家にいるよりは図書館へ行って懸賞問題を解いて楽しみ、併せて雑誌も読めて一石二鳥と思っています。そして、たまに料理教室にも通います。教えてくれる方はとても料理が上手で教えて欲しいものを言えば、それを教えてくれます。最近は魚をさばき、干し物にする方法を教えてもらいました。そう言った形で、少しずつですが小浜で楽しんでいます。時間がある限り、もっと小浜のことを知ろうと思っています。

… … … … … … … … … …

《**あとがき**》　10月26日(木)　当院職員の薬の勉強会の後、11月11日(木)　に「働く婦人の家」で行なわれる安部司さん（「食品の裏側」の著者）の講演について“Ｆフォーラム”の能登さんから話を伺いました。

安部さんは食品添加物の会社のトップセールスを辞め、食品の開発、推進に携わっておられます。講演の聴講をお勧めします。